

EDXG ブリテン

ノウ・ハウとアイデアを求めて(JI5SKSの巻)

JA5EY

今月のある日曜日の朝、喜多村さんに家まで来てもらった。ついでに私のシャツクをみた後、白水台にある彼の家に連れていってもらった。途上、私の予想もしてなかった道だったので、何処をどう通っていったのか、さっぱり分からなかったが、そのうち、見晴らしのとてもよい高台に上がっていった。



写真.1 シャツクでのJI5SKSさん

聞くと、海拔約120mだそうである。周囲を見渡しても、これと言った障害も無く、抜群のロケーションである。家に着くなり、アンテナを撮らしてもらったのであるが、写真の通り、上下のアンテナを45度ずらしてある。

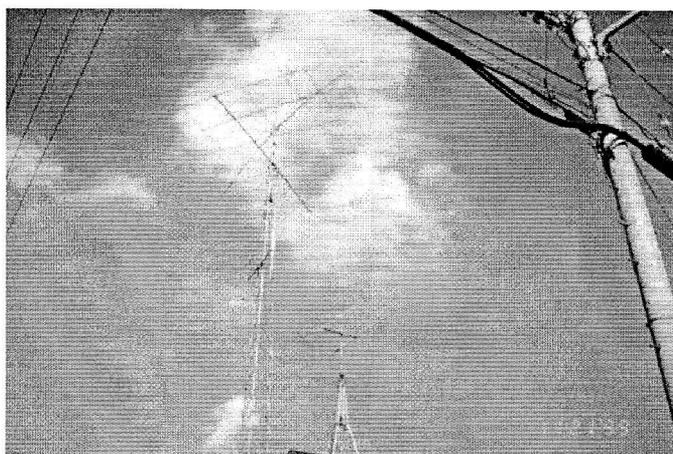


写真.2 3本のアンテナは45度つつずらしてある

後でアンテナのシュミレーションを見せてもらって分かったのだが、同方向に並べた場合、垂直ビームを見てみると、少しだが真上に向けてビームがあるのがひっかかるのと、お互いのエレメントの干渉により2db程フロント・ゲインが落ちるので、わざとずらしてある。私も、5VQさんのアドバイスによって、45度ずらしたのだが、シュミレーションにより、良く理解できた。

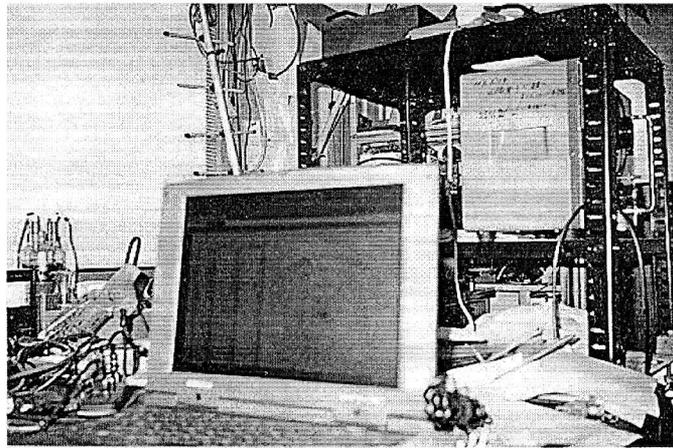


写真.3 アンテナシュミレーションの一例(バカチョンのためピンぼけ)

無線室も適当な広さで、SG初め一杯、所狭しと、置いてあった。4LKBさんとも話したのだが、やはり、色々測定器類が欲しい。彼は、アッテネーターを自作していた。

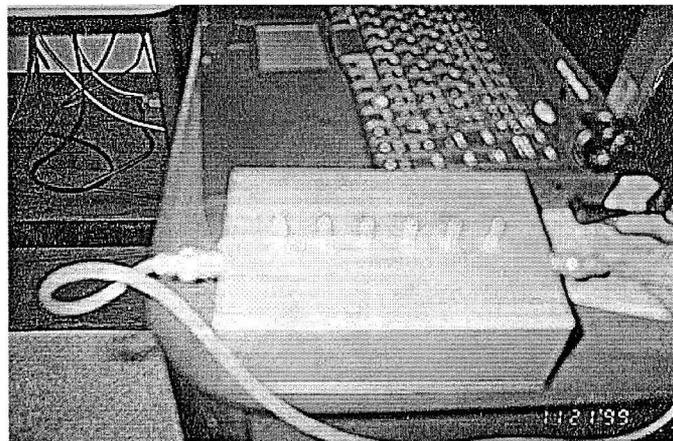


写真.4 喜多村氏力作のアッテネーター(バカチョンのためピンぼけ)

写真に撮ったのだがぼけてうまく撮れなかったが、1, 2, 3, 4, 8, 10, 20dbのアッテネーターを1個のケースに組み込み、組み合わせにより、1-40dbの間自在に測定できる。これを使って自分のアンテナの水平ビームパターンを作成したのを見せてもらった。あくまでも、アバウトではあるが、アマチュアライクで面白い。最後に、いよいよ、目的のアンテナのシュミレーションを見せてもらうことにした。私は50MHz YAGIANTの改作を予定しており、エレメント間のスペースをどうしたらよいか迷っていたので、色々シュミレートしてもらったところ、ドリブンエレメントとディレクター間、相互のディレクター間を広くとることにより、たしか、水平ビームがシャープであったようである。結局は、ブーム長が長いほどよさそうだ。

その他、長さを変えての、ベバレイジや、スモール・ループ、ロンビック等シュミレーションしてみた。ベバレイジは、最低1ラムダーは欲しい事、ロンビックは大変すばらしい事等々、勉強になった。本当は、色々なシュミレーションをお願いしたいのは、山々であるが、彼も大変お忙しいので、頼むわけにもいかない。大変、残念ではあるが。

最後に、たまの休日に、お邪魔したことを、お詫びして、早々に自宅まで送って頂き、ありがとうございました。

1999.NOVのEDXGブリテンへ